

# 飯南

いいなん

第32号

平成25年1月21日

飯南町議会 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867



僕たちの町にはスキー場がある。〈琴引フォレストパークで冬休み最後のスキーを楽しむ／1月6日〉

## 平成24年12月定例会終わる

- 平成24年度 一般会計補正予算 …………… 02
- 意見書・議会全員協議会の議題 …………… 03
- 一般質問に5人が登壇 …………… 04～08
- 決算審査特別委員会報告・採決の結果・討論 …… 09
- 常任委員会報告 …………… 10～11
- 明日を拓く(宇山地区が取り組む6次産業とは) 12

# 飯南

平成24年

## 12月定例会終わる

12月定例会は、12月11日から12月21日までの11日間の日程で開きました。

来年度から都市間交通バスの路線変更により、本町から松江・出雲方面へのバス便確保が必要となった。このため、雲南市吉田町の道の駅まで飯南町の生活路線バスを走らせる。市が経費の一部を負担することを条件に、雲南市内に13カ所の停留所が設けられる。本定例会最終日の12月21日には山崎町長から次の町長選挙に出馬する決意が表明された。

なお、石原議員が一身上の都合として議長に辞表を提出、議会がこれに同意し受理された。

財産(マイクロバス)の取得

### 新年のご挨拶



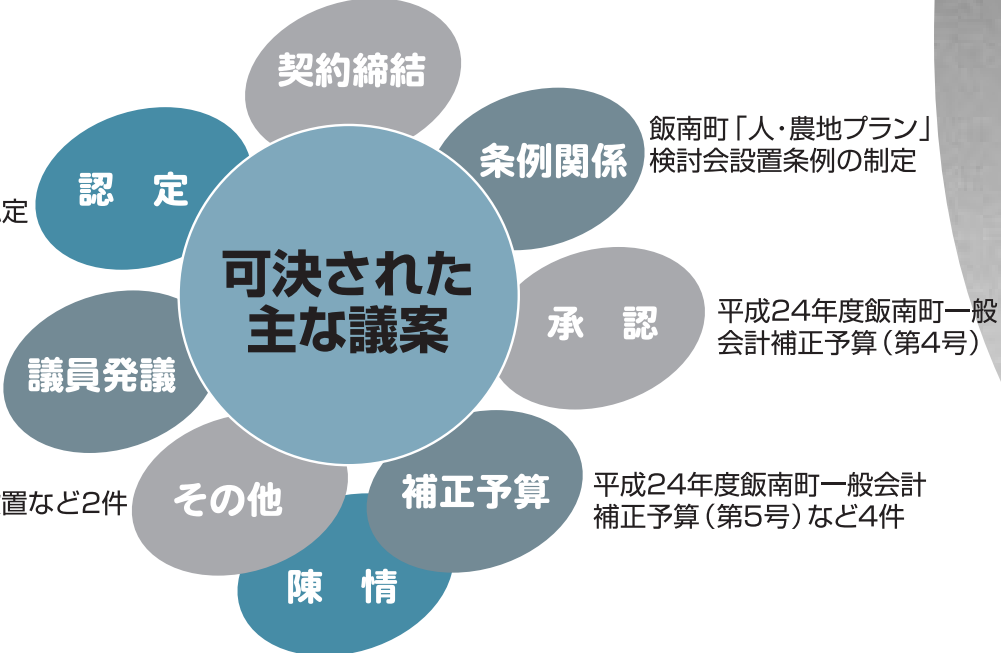
飯南町議会議長  
那須 穂士輝

新年あけましておめでとございます。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

依然として続く景気の低迷の中、最小限の投資で最大の効果が得られるよう、何が必要で何を最優先にすべきかを見極める視点が求められております。

議会改革については、次回選挙より議員定数を二名減、全員協議会への傍聴を可能としました。さらなる議会改革に努力することをお誓い申し上げます。

町民の皆様にとりまして、この一年が実り多い年でありますように併せてご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。



平成24年度 一般会計補正予算は  
町道井戸谷長藤線・頓原長谷線整備事業、道路維持修繕など  
**1億0756万円増額**

各会計	補正予算額	予算総額
<b>一般会計</b>	<b>1億0756万円</b>	<b>74億5961万円</b>
特別会計 簡易水道事業	300万円	2億3429万円
下水道事業	370万円	4億3455万円
病院事業会計	451万円	10億6741万円

### 議会全員協議会の議題

10月18日(木)

- ① 飯石情報通信協会職員による不祥事について
- ② サプロ口島根債権について(松原三朗弁護士説明)
- ③ 公の施設の指定管理者の公募について
- ④ 雲南広域連合規約の改正について
- ⑤ 高速バス対策の概要について
- ⑥ 志々出張診療所診療時間の変更について
- ⑦ 気象台との防災協定締結について

11月25日(日)

- ① サプロ口島根債権について(松原三朗弁護士説明)
  - ② 飯南町支所のあり方について
  - ③ 公の施設の指定管理者の公募について
  - ④ 雲南広域連合規約の改正について
  - ⑤ 高速バス対策の概要について
  - ⑥ 志々出張診療所診療時間の変更について
  - ⑦ 気象台との防災協定締結について
- 12月20日(木)
- ① 米の需要調整について
  - ② サプロ口島根債権について
  - ③ 構造改革特区認定について(トブロック特区)
  - ④ アンテナショップ推進事業について(三次市内)
  - ⑤ 朽畑橋設計変更について
  - ⑥ 頓原肥育センター放射線セシウム汚染堆肥の処理について

### 陳情

介護職員処遇改善加算の継続 拡充を求める陳情

- (陳情者) 松江市大正町44216  
島根県医療労働組合連合会  
執行委員長 佐野 みどり
- (審査委員会) 総務厚生常任委員会  
(審査結果) 継続審査

安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める陳情

- (陳情者) 松江市大正町44216  
島根県医療労働組合連合会  
執行委員長 佐野 みどり
- (審査委員会) 総務厚生常任委員会  
(審査結果) 継続審査

県に乳幼児等医療費助成制度拡大の意見書提出を求める陳情

- (陳情者) 松江市浜乃木四丁目4番1号  
島根県保険医協会  
会長 吉岡 繁治
- (審査委員会) 総務厚生常任委員会  
(審査結果) 採 択

下赤名地域の地域振興拠点施設整備に対する要望

- (陳情者) 飯南町下赤名236番地  
下赤名自治振興協議会  
会長 田原 俊雄
- (審査委員会) 総務厚生常任委員会  
(審査結果) 継続審査

「大注連縄工芸館(仮称)」の新設整備を求める要望

- (陳情者) 飯南町花栗389  
飯南町しめ縄クラブ  
代表 星野 敏幸
- (審査委員会) 教育経済常任委員会  
(審査結果) 採 択

町道塩谷向線及び町道花の谷線の改修・拡幅を求める陳情

- (陳情者) 飯南町塩谷3712  
塩谷上自治会長  
砂田 和昭
- (審査委員会) 教育経済常任委員会  
(審査結果) 継続審査

※採択された陳情は、本会議で意見書を決議し、関係機関へ送付しました。

### 意見書

県の乳幼児等医療費助成制度拡大を求める意見書

子どもの頃の疾病をきちんと治癒させておくか否かが、成長後の健康状態を大きく左右する。島根県の制度として、すべての子どもが家庭の経済状況にかかわらず、必要十分な医療を受けられることを目指し、

県の乳幼児等医療費助成制度の対象を中学卒業まで拡大されるよう要望する。



# 頓原肥育センター存続を

A 関係者と検討



永井 章議員

町長は9月定例議会において和牛振興は必要であり、行政の関わり方も

含め、JAに新たな視点で経営を検討するよう要請していると報告した。現在の検討状況は。頓原肥育センターの施設は、今後も十分活用できる状態にあり、飯南町和牛振興を推進する当り、重要な役割を持つていると思う。



頓原肥育センター

山崎英樹町長 奥出雲和牛ブランドを維持、発展させるため、6肥育センターの運営を継続していくよう、JA雲南に対し、1市2町連名で要請していた。JAの回答は、肥育事業はこれまでの方針どおり、吉田・仁多2肥育センターのみで継続。横田・頓原の肥育センターは地域の担い手や集落営農組織等による繁殖・肥育施設として活用するほか、キャトルステーションとして利用をめざす。

三刀屋・赤来のセンターは、JAによる運営は困難との回答だった。これを踏まえ、JAや関係者と一緒になって検討を進めていく。

※【キャトルステーション】(共同子牛育成施設)とは、繁殖農家から3〜4カ月齢の離乳した子牛を預かり、子牛市場に出荷するまでの間、飼養管理・育成する施設。

# 来島ダム水利権契約更新は

A 更新申請はまだ提出されていない

永井議員

来島ダムの水を利用して発電する中国電力の水利権が、平成25年3月で、30年ぶりに更新時期を迎える。

更新にあたって、「神戸川河川環境に関する専門委員会」・「神戸川来島ダム水利権など調整委員会」・「神戸川再生推進会議」があり、本町から副町長が出席しているが、検討状況を問う。

景山登美男副町長

平成25年4月以降の水利権の更新申請は中国電力から国土交通省へ提出することになっているが、まだ提出されていない。

2つの委員会は、水利権の更新については、当委員会では議論すべき問題では無いとしている。また、本町は神戸川再生会議には参加していない。

# 更新に際した考えは

A 総合的に判断する

永井議員

現在の来島ダムの状況は、放水量が限定されることで水質が悪化し、魚類の繁殖など、自然環境にも影響があると言われている。

更新にあたって町長の考えは。

山崎町長

水利権更新申請はまもなく国土交通省へ提出されると思っている。その後、国土交通省から島根県、そして県から飯南町へ意見照会があると聞いている。飯南町は、議会や流域の関係者から意見を聞き、総合的に判断し、回答すべきと考えている。

# 町政を問う 一般質問

12月定例会

# 医療従事者助成制度の拡充を

A 前向きに検討



伊藤好晴議員

町が定めている医療従事者確保対策助成金交付要綱の範囲拡大について、第1条にある「飯南病院等」の等は何を指すものか。範囲を明記すべきだ。

山崎英樹町長

飯南町内の全ての医療機関及び、各介護施設を想定したものであり、医療従事者は、飯南病院だけでなく町内全体のことである。今後、要綱の改正は検討する。

伊藤議員

助成金の交付対象者は、医師、歯科医師、薬剤師、保健師及び看護師ということだが、例えば放射線技師、理学療法士、歯科衛生士などの職種も対象に拡大すべきと考えるが。



町内の歯科医院

# いじめへの対応は

A 情報発信に努める

伊藤議員

全国各地で「いじめ自殺」発生が報じられている。いじめは「暴力」「人権侵害」であると考えられているか。

安部 巨教育長

「いじめ」の定義については、一定の人間関係にある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているものである。すべての人間が、個人の尊厳と基本的人権を持つているのであり、そのことを著しく傷つける行為は許されるものではないと考える。

伊藤議員

いじめが実際に起きたときの対応はどのようにすればよいのか。専門家への連携はどう考えるか。

安部教育長

日ごろから児童相談所や警察、また医療機関も含めて努力している。いじめの未然防止、問題の発見と解決、事後の見守り、全てを通じて各関係機関の役割を明確にしながら対応できるように努力している。

伊藤議員

目の前のいじめから子どもたちを守る。それには全国的なこの問題を解決した経験を学ぶことが大切で、「いじめ」の拡大を、教育と社会の構造的な問題と捉えて是正していく努力をすることが重要と考えるが。

安部教育長

児童生徒の実態を正しく把握していくこと、それに応じて適切な対応をすること。また、全町民が同じ思いでいじめ問題を解決していくという努力が重要であると考えている。そのために、学校、教育委員会からも情報発信に努めたい。

# 行政改革に本腰を

## A 行革大綱の見直しに着手



出雲大社に奉納された大しめ縄

長島正一議員

自動車道の開通により、道の駅関連施設等、地域経済に与える影響は計り知れない。さらに、平成27年からは地方交付税の一本算定により交付税の減額が予測される。企業会計の導入や将来の財政数値の見直し。また、指定管理の在り方や遊休資産の見直し等、歳

**Q「日本一のしめ縄の里」のギネス登録を**  
**A 具体的に町としての働きかけが必要**

長島議員

産業育成に重要なのがブランド確立で、現在の「奥出雲ブランド」には違和感があり、検討が必要と考える。また、「地域のイメージを売り込むためには情報投資が必要」と言われているので、「日本一のしめ縄の里」として、ギネスブック登録を目指すべきだ。

山崎町長

生命地域飯南町の知名度を上げるための地域づくりに一層努力し、飯南ブランドの育成、徹底をしていかななくてはならない。ギネスブック登録は非常にいい提案で、登録に向けて、具体的に町として働きかけをしていく。

**Q 指定管理制度の現状維持は困難では**  
**A 類似施設の統合や廃止を考える**

長島議員

自動車道開通後の国道54号活性化プランが示されているが、効果には疑問がある。指定管理制度は、雇用の場の少ない当町にとって重要施策であるが、財政状況が厳しさを増す中、現状維持は困難が予測される。

**Q 定住者対策に住宅を**  
**A 計画的に進める**

長島議員

農業等の担い手が不足する中、定住者確保対策の課題は、住宅不足だ。志々・赤名地区でも住宅用地を確保し、定住者の呼び込みを図るべきでは。

山崎町長

アクシオンプランの理念は本町の目的化で、町民一丸となって地道に取り組むことが大切だと思っている。観光・宿泊施設は、本来、収益をもつて運営すべき施設であるが、飯南町という条件下では、収益のみで賄うことが困難な状況になっているので、人件費の一部や施設の維

山崎町長

志々地区は、旧ダム建設事業者の寄宿舍跡地へ設置を考えている。赤名地区は、町有地に大きなスペースが無く、広い民地の買収も視野に入れ、財政状況を考慮しながら、計画的に定住住宅確保を進める。

## 町政を問う

# 一般質問

### 12月定例会

## 原子力災害 広域避難計画対応を

### A 担当者間で協議中



小野 覚議員

原子力災害発生を想定して、県は広域避難計画を公表した。

本町への非難予定者は松江市大野地区に居住する1,500人、その中には要援護者145人が含まれているが、具体的な受け入れ計画の策定状況は。

また、スムーズな支援を実行するには、普段からの連携が大切だと思うが対策は。

山崎英樹町長

島根県、松江市より、避難先として本町へ要請があり、市の担当者と事務的な協議を行っている。第一に、駐車場の確保、受け入れ案内所の設置。

次に避難所の開設で、人数に応じて赤名農村改善センター等、公共施設を中心に数を増やし、要援護者は、保健福祉センターをメインに考えている。また、安心して避難していただくため、平時の交流が大切であることは市に申しいられている。

**Q オフサイトセンターの代替施設誘致を**  
**A 本町は対象になりにくい**

小野議員

国は、福島第一原発事故の教訓から、オフサイトセンターの機能を各原発から30キロ圏外を目安に、分散して配置する指針案を決定した。

本町には、中山間地域研究センターがあり、県のデータセンター等として代替施設を誘致する意義があると考えるが、県に働きかけては。

山崎町長

この施設は、有事の際のみに使用する拠点で、新たに建設する考えではない。また、島根原発から30キロ圏付近で、500人が収容できる既存の施設を利用する方向で検討されており、本町は対象になりにくい。

**Q いじめ問題対応は**  
**A 校内研修にも着手**

小野議員

学校でのいじめは、暴力から無視や携帯電話による中傷など、陰湿化し気づきにくいものになっている。

9月議会で一件が未解決と答弁があったが、その後の状況はどうか。また、学校での取り組みは。

安部 巨教育長

未解決の件については、夏休み期間中に解決し、2学期以降元気に明るく学校生活をおくっている。各学校での取り組みとしては、早期発見・早期対応。教職員全体での取り組み。速やかな教育委員会あるいは関係機関対応、保護者への連絡。この3点を指導している。特に、現状把握のため、全ての児童生徒に年2回QUTテストを、県に先駆けて実施し、問題の早期発見に努め、改善のための校内研修を始めている。

島根県中山間地域研究センター



### ※【オフサイトセンター】

2000年4月、原子力災害対策特別措置法において指定された施設で、緊急事態応急対策拠点施設のこと。原子力災害発生時には、オフサイトセンターを拠点に、国、自治体、事業者、専門家など関係者が一体となって「原子力災害合同対策会議」を組織し、事故拡大防止のための応急対策、住民の安全確保策などさまざまな緊急対策に有効な手をうつ。

平成23年度飯南町各会計歳入歳出決算について、次の意見を付して認定した。

審査意見

総括

- 一般会計の決算は、前年と比較すると積立金及び普通建設事業費の減により減少している。
●実質公債費比率は17.1%となった。今後も繰上げ償還、行政改革の推進、経費削減を進め、財政の健全化に努力されたい。

定住対策

- 平成23年度は32人の定住につながり、定住促進対策事業費の多くは住宅確保対策費であった。定住住宅の建設は町がすべて負担するだけでなく、受け入れ先の企業、団体と分担を協議し確保に努められたい。

指定管理料

- 公の施設の指定管理料が増加傾向にある。観光施設の指定管理者の更新が迫っているが、尾道松江線の開通などによる影響が懸念される。町有施設のあり方について

- 抜本的な改革を求める。
●琴引スキー場外修繕委託費1400万円は毎年支出されているが、明確な説明がなかった。改善を求める。
●産業振興に係る公の施設は実績が上がっておらず、本来の目的に沿い、指定管理者と意思疎通を図られたい。

緑の分権改革推進事業

- 4067万円の事業費で電気自動車2台と充電装置2基を設置したが、利用が少なく事業目的が達成されていない。緑の分権改革の考え方に立ち、事業の再構築をすべきだ。

未収金

- 一般会計における未収金は、4501万円で大幅増となっている。中でもサプロ島根に対する貸付2024万円が未収金となっているが、特段の回収努力をされたい。

12月定例会における採決の結果

○賛成議員 ●反対議員

Table with columns for item names and 12 council members (熊合兼樹, 石原敏郎, 安部誠也, 門真一郎, 長島正一, 永井章, 伊藤好晴, 瀧尻行雄, 難波俊司, 小野覚, 安部朋次) and a '結果' (Result) column.

12月定例会における議員提出議案採決の結果

Table with columns for proposal numbers (e.g., 発議第6号), descriptions, and 12 council members' votes.

陳情の採決結果

Table with columns for petition numbers (e.g., 陳情第7号), descriptions, and 12 council members' votes.

討論

認定第1号
平成23年度一般会計特別会計歳入歳出決算認定

【反対討論】
伊藤好晴 議員

観光施設の指定管理料は総額9400万円あまりになる。宿泊予約に対し一満室と断った事例が発覚しており、このような経営方針では、黒字転換は見込めない。観光費は見直す必要がある。
琴引スキー場外施設修繕委託の1400万円は使途が不明瞭であり容認できない。
平成23年度飯南町住宅新築資金等貸付事業特別会計は、23年度で未収金が3200万円ありある。24年度で終了する事業だが、直ちに有効な対策を講ずる必要がある。

【賛成討論】
石原敏郎 議員

指定管理料は議会が議決し、それを執行部が執行権を持って執行しているものだ。特別のことが無ければ、適切と判断すべきだ。
住宅新築資金は旧亦来町時代の同和対策事業の一環として取り入れられたもので、事業は完了しているものの、未収金が残っているものだ。回収に誠意を持って努力されたい。

町政を問う

一般質問

12月定例会

町長再出馬を白紙に
A 今会期中に表明



石原敏郎議員

報道によると町長は10月29日、町内で記者会見し、3期目を目指して出馬する意向を表明した。...

これだけ押し迫った時

期になるまで議会に対して言及していないとはどういうことなのか。
現在のものが前に進まない状況を、山崎町長再出馬を受けて引き続きこのままの飯南町を維持するのか、それとも改革が断行できる新たなリーダーを選出するのか、飯南町は分水嶺に立っている。...

山崎英樹町長
次期町長選挙への出馬表明は今定例会の最後の挨拶の中で考えている。私は町政運営の最高責任者として、一つ一つの施策を推進してきた。その経験、培ってきた力をもって、飯南町を住みよい活力ある町にしたいという思いで、今回出馬表明する。

町民の福祉向上のために、安心できる生活のために、庁舎は道具として有る。
新庁舎建設は、公共事業ありきではなく、赤名庁舎、頓原庁舎は数年先

町民が大切か、庁舎が大切か
A 若者に負担を先送りできない



石原議員

役場庁舎は町政運営の手段で、建物が建ったら何もかもうまくいくというものではない。しかし、山崎町長は、新庁舎を建設しようという血眼で、建てるのが目的にしか見えない。
公共事業至上主義に依存する体質が、農業を中心とした産業振興に結びつかなかった。農業に立脚した産業構造の構築をやらなければ、若者の所得向上はできない。...

山崎町長
町民の福祉向上のために、安心できる生活のために、庁舎は道具として有る。
新庁舎建設は、公共事業ありきではなく、赤名庁舎、頓原庁舎は数年先

町民の福祉向上のために、安心できる生活のために、庁舎は道具として有る。
新庁舎建設は、公共事業ありきではなく、赤名庁舎、頓原庁舎は数年先

福祉立町をめざせ
A 住民と意識共有を

石原議員

福祉立町を目指す本町の最大の福祉政策は産業振興にあるが、町長の事無かれ主義によって産業全般が地盤沈下している。それが町民の自信喪失、行政への信頼失墜へと結びついて、町全体がジリ貧状態に陥っている。
調和ある自助・共助・公助がないとコミュニティが成り立たない。そこに経済の格差があると、皆が心をつなげられない。行政が先頭になって考えて、地道な産業振興を行うことで福祉立町を目指すべきだ。

山崎町長

自助・共助・公助は町民が生活を営んでいく上で基本的な大切だが、公助の領域は行政が明確な理念を持って取り組む。
コミュニティを基本として、自助・共助・公助という考え方を町民と共有していきたい。

## 常任委員会報告



### 教育経済常任委員会 委員長 門 眞一郎

#### 飯南町「人・農地プラン」検討会設置条例の制定

個別所得補償経営安定推進事業実施要綱に沿って検討会を設置するものであるが、構成員に農業委員が含まれている。農業委員会の独自性を尊重するために次の意見を付した。

##### 意見書

- 国の施策に乗ることは重要であるが、地域の特色を生かす取り組みにする必要がある。
- 集落から提出された「人・農地プラン」は、まず農業委員会が審査し、これを持って代表委員が検討会に出席し、プランを練るよう求める。

### 研修報告 おおき環境センター(くるるん)を視察

平成24年10月26日(金) 福岡県大木町

大木町は平成19年3月に大木町もったいない宣言(ゼロ・ウェイスト宣言)を行い、ごみゼロへの挑戦を開始した。

下水道設備のない大木町は、多くが合併処理槽を持っている。ここから発生する汚泥と生ごみ・し尿をタンク内でメタン発酵させ、毎時50キロワットの発電を行っている。

発酵が終わって出来た液肥は、施設周辺に集積された畑や水田で利用し、有機栽培を行っている。有機野菜は隣接する道の駅で直売や料理として提供され、米は100ha分を道の駅が買い取りブランド米として販売している。

液肥は無料で誰でも利用できるが、水田などに散布してもらうと10a当たり1000円の散布量がかかるそうだ。

大木町環境課が管理する施設であるが、廃棄物の処理だけに着目せず、新たな産業の創設にまで発展させる柔軟な発想に、飯南町に欠けているものが見えたような気がした。



メタンガス処理施設

### 平成24年度 一般会計補正予算(第5号)

#### 農林水産業費

地域貢献型集落営農ステップアップ事業 272万円  
宇山振興会のサツマイモ販路拡大事業に213万円の補助と、長谷集落営農の地図情報システム導入に59万円の補助を行う。

#### 教育費

##### 小学校臨時管理費 612万円

来島小学校、赤名小学校へ特別支援学級を開設するための教室及び保健室の改修費。

全国的に特別支援学級の対象者は増加傾向にあり、環境の良い田舎での就学を希望し、家族で移住する例もあるが、受け入れる考えも必要ではないかとの意見があった。

##### スクールバス整備費 100万円の減額

スクールバスの入札減によるものだが、極力町内の事業者から導入するよう求め、今後、スクールバス更新が見込まれるため、考慮するとの回答を得た。

## 常任委員会報告

### 総務厚生常任委員会 委員長 長島 正一

#### 飯南町生活路線バスの区域外設置

高速バスの路線変更に対応するため、雲南市吉田町に新設される「道の駅たたらば壱番地」まで飯南町生活路線バスを運行するためのもの。利用者の利便性を図るため、次の意見を付した。

##### 意見書

- 停留所の設置については、今後、住民の利便性や要望も踏まえ検討されたい。また、行政職員自らバスの利用促進を図るよう努められたい。

### 平成24年度 一般会計補正予算(第5号)

#### 歳入

##### サブロ島根貸付金元利収入 2024万円

特にサブロ島根貸付金については、ここまで予算計上が遅れたことへの疑問を、財政規律重視の観点から指摘した。

#### 歳出

##### 障害者福祉費臨時管理費 166万円

この事業は、空き家改修によって、障がい者のケアホーム・グループホームを開設するためのもの。ノーマライゼーションの浸透に伴い、今後のモデルとなる事業である。地域住民の理解が得られスムーズな事業展開ができるよう行政の支援を求めた。

##### 長期債償還元金 1008万円

島根県商工振興資金返済金のサブロ島根貸付分を計上したもので、貸付金回収に万全を期するよう意見した。

### 研修報告 障がい者授産施設(キッチンあい彩館)を視察

平成24年10月26日(金) 長崎県大村市

長崎県大村市にある、就労移行支援・就労継続支援B型施設を訪問し、本町の行政支援のあり方について方向性を探った。

#### 障がい者施設運営組織について

本町のように、株式会社へ指定管理委託をすることは廃業撤退というリスクがあり好ましくなく、その点、基本資産及び運用財産に高いハードルを課している社会福祉法人の設立が望ましいという指摘があった。

しかし、本町ではこれを達成することは容易でなく、行政支援に知恵を絞るべきだ。

#### 障がい者支援員確保への支援

就労支援は、規定の支援員数では足りない事業所が多いので、ボランティアの活用は望ましいが、その確保も困難だ。解決策として行政支援の仕組みが必要だ。



調理施設

## 議会活動報告(10月~12月)

### 10月

- 1日 議会広報編集委員会：紙面校正
- 2日 決算審査特別委員会：企画財政課、教育委員会
- 5日 議会広報編集委員会：紙面校正
- 9日 決算審査特別委員会：総務課、保健福祉課
- 10日 島根県町村議会議長会、全議員研修会(松江市)
- 11日 総務厚生常任委員会：路線バスについて
- 12日 雲南市・飯南町事務組合議会
- 18日 決算審査特別委員会：飯南病院、建設課、議会全員協議会
- 24日 決算審査特別委員会：住民課、産業振興課
- 26~28日 第10回全国和牛能力共進会 長崎大会  
総務厚生常任委員会視察研修(長崎県大村市)  
教育経済常任委員会視察研修(福岡県大木町)
- 29~30日 議会広報全国研修会(東京都)

### 11月

- 6日 決算審査特別委員会：(株)フロンティアあかぎ、飯石森林組合、ファーム木精
- 8日 決算審査特別委員会：飯南町商工会
- 14日 決算審査特別委員会：飯南町社会福祉協議会、JA雲南、(株)飯南町トータルサポート
- 15日 教育経済常任委員会
- 19日 決算審査特別委員会：現地
- 20日 議会運営委員会：諮問事項検討
- 21日 教育経済常任委員会：閉会中の調査事件
- 22日 島根県中央子牛共進会
- 25日 議会全員協議会
- 28日 決算審査特別委員会：まとめ
- 30日 島根県町村議会議長会、正副議長・正副委員長研修会(松江市)

### 12月

- 5日 議会運営委員会：12月定例会の提出議案、日程外の協議
- 11日 12月定例議会：本会議、町長行政報告、提出議案の説明、質疑
- 14日 : 本会議、一般質問
- 17日 : 委員会審査
- 18日 : 委員会審査
- 19日 : 委員会審査
- 20日 : 委員会審査、全員協議会
- 21日 12月定例議会：本会議、討論、採決・全員協議会
- 25日 雲南市・飯南町事務組合議会、雲南広域連合議会
- 27日 議会広報編集委員会：一般質問要約

明日を拓く

# 「草の城」は地域の生命線、水の源

ここは、わさびも取れる清らかな水の郷です。

## 宇山地区が取り組む6次産業とは

森と水企画「草の城」の森山敏さんに、事業の概要について伺いました。

**問** 今までの事業は

**答** 最初に町の提案型事業を活用し、竹林整備を目的に、たけのこを採って、乾燥だけの商品化した。今では販売量は一定だが、固定客がある。



森山 敏さん

イ事業のイベントで、地域のサツマイモと味比べをしたが、断トツで宇山のサツマイモがうまかった。土作りに廃菌床とカブトムシ堆肥と秘密のエッセンスを使った成果だった。

冷やし焼き芋は、売れ残った焼き芋を冷凍庫に保存し、後で食べてみたら焼きたてよりさらにうまかったことで商品化した。偶然の産物だ。

**問** 今から取り組むことは

**答** この地域にあるものを加工して商品化したい。今持っている販路に地域の珍しいものを供給していきたい。



**問** 今後の目標は

**答** 事業を始めた頃のメンバーは次第に歳をとってやめていく。ここにそんなに若い人がいるわけではないので、囲い込みなんかせずに、地域外へ労働力を求めている。

近所に障がい者支援施設があるが、ここからも働きに来てもらっている。事業が次第に大きくなれば、地域外や施設の人たちの働きの場にしていきたい。この町に何か波及効果があればこの上ないことだ。

**問** 行政に求めることは

**答** 施設を作ったり、設備を整備するには多額の資本が必要になる。集落の人だけでは無理がある。スタートの場面で行政の支援は必要だ。

がんばって自力でやっていこうとする人たちが、地面をけて飛び立っていくために支援してほしい。



表紙の写真

高原の町にスキーの季節がやってきました。冬休み最後の日なのか、町内の生徒・児童の姿が、町外来場者の中に混じり多く見受けられました。子どもの頃から整備された良質のスキー場に馴染み、様々なスキー大会や競技会に出場する機会も多いということは、結果として優れた冬季スポーツの選手を輩出する源泉にもなります。「小さいときから地元の琴引スキー場で滑ってましたから。」と言ってくれるようなオリンピック選手が育ってくれるといいなと思いつつ、寒いスキー場で微笑みながらシャッターを押しました。



## 編集後記

昨年の12月議会は、何とか落ち着かない議会であった。中間日の16日は、第46回衆議院総選挙があり、再度3年3カ月ぶりに自公政権が誕生した。

特に経済対策、社会保障、外交、安全保障、憲法問題と、難問が山積している。その中において、最も配慮しなくてはいけないことは、政治への信頼回復である。民主党のマニフェスト(政権公約)は、国民に決定的な嘘をついた形になった。「決められない政治」だったのだ。

しかし、政権政党は、今後、国民から強く支持される政策をしなくてはならないのである。このような国政の動きを本町議会も真摯に受けとめ、我々議員はさらに町民の皆さんに支持されるよう努力しなくてはならないことを感じたところである。

今年、議員一人一人がさらに自らをいましめる思いで議会活動に当たらなくてはならない。

議会広報編集委員会

瀧尻 行雄